

○2023年度輝くまちづくり交付金事業実績報告書【報告会用】

団体名：(一社)釧路青年会議所

事業名：デロリアンで行く！環境×未来都市くしろ

事業費：金 669,592 円

輝くまちづくり交付金の交付金額：金 200,000 円

1 事業目的と事業内容

- ・リサイクル・カーボンニュートラルという考え方は、良い事だと理解していても、楽しくなければ継続できず、行動にもつながらない。
- ・市として環境分野に積極的に取り組んでいる事は、まちに住む人にとって魅力の一つであるとともに、リサイクルやサステナブルツーリズムといった環境産業への挑戦の糸口にもつなぐと考える。
- ・本事業では、市内外から人が集まる大規模なイベントの場を活用し、市と連携協定を締結している(株)JEPLAN 所有のごみを燃料として走る車「デロリアン」の展示を中心とした企画を行い、これまで環境分野に関心の薄かった層に対する意識喚起と、SNS 等を活用した今後の意識醸成・まちとしての取組みの発信につなげ、もって「魅力的なまちづくり」と「地域経済の活性化」に資する事を目的として、実施した。

・日時 2023年7月21日(金)～23日(日)

・会場 くしろ霧フェスティバル会場内(釧路市耐震旅客船ターミナル)

2 事業の達成状況と今後の課題

- ・指標として、市の SNS 等への「いいね」等の増加数 100 件を設定し、下記のとおり達成する事ができた。

ecocity946(instagram)フォロワー数 150 人増加(653→803)

ecosity946(instagram)いいね数 149 件

市 LINE(環境分野のページ)登録数 128 人増加(62,490→62,618)

- ・リサイクルやカーボンニュートラルの取組みは、市民一人ひとりの意識と行動がなければ進まない。今回、大規模なイベントと魅力的なコンテンツ(デロリアン)を組み合わせる事で、環境に対する意識を高める契機とする事ができたものとする。
- ・今後も継続した情報発信と、関心の薄い層や将来のまちづくりを担う子ども達等に対してアプローチできる工夫、行動に移すための仕組みについて検討していく必要があると考える。

○2023年度輝くまちづくり交付金事業実績報告書【報告会用】

団体名：幼い子どもたちのためのコンサート実行委員会

事業名：0歳からのファミリーコンサート

事業費：50万円

輝くまちづくり交付金の交付金額：20万円

1 事業目的と事業内容

2018年から取り組んできた研究課題、「保育者を目指す学生の大きな学びの機会」と、「これから育っていく幼い子どもたちの情操教育の場」また、「様々な人や団体との多様な交流」を通して、心豊かなこどもの育ちを以下のように考え、目的とした。

- ① 情操教育＝生の演奏に触れて、子どもたちの感動体験創出
- ② 連携（子どもたち・子育てに関わる人や障がい者支援の福祉団体との多様な交流）
- ③ 乳幼児が入場制限せずにコンサート参加可能として、子育て家庭と子どもたちが感動を共有し、思い出の時間を作ることができる

多世代・障がいのあるひとなどとの交流から、多くの体験を得て子育てに希望や勇気を得ること、また手づくりで様々な子どもたちへの作品を提供する母親たちのグループとのつながりを持つことで子育てに夢を描くことが出来る流れの一つになるような内容。

2 事業の達成状況と今後の課題

子どもの良質な育成環境を保障し子ども・子育て家庭を社会全体で支援することを目標として開催したが、昨年以上の来場者（親子600人で**予想以上に広がりのある市民の参加を得ることができた**
3世代の参加(祖父母・親・孫)・東京からコンサートを楽しみに帰省した人もいた

【終了後のアンケートの自由記述】

✪家族で楽しい充実した時間の共有と本格的なコンサートに触れることができた。

✪親子で音楽を楽しむことで、子どもの情操教育ばかりか大人の癒しとなった

✪毎年楽しみにしている

特に今年は絵本選定やその作品の音楽作曲も実現することができた。

釧路短大学生の学び

コンサートひろばを形作っている協力団体及び協力するスタッフとの交流から音楽だけにとどまらない互いの支え合いの場が実習では得られない貴重な機会になった。

コンサートを通して、子ども・子育て家庭・子育てを支援する人・地域で暮らす様々な人が、気軽に和やかに交わる機会に触れることができた。

* 今後の課題

今年度は、幼稚園・保育園・小中学校・障がい者支援施設・子育て支援センターに案内をしたが、釧路短期大学からの要請もあり次年度は高校にも案内をしたいと思っている

○2023年度輝くまちづくり交付金事業実績報告書【報告会用】

団体名：一般社団法人 エシカルプラス

事業名：災害対策トレーニング in 釧路

事業費：30万2千円

輝くまちづくり交付金の交付金額：25万円

1 事業目的と事業内容

【目的】世代間ギャップやアンコンシャスバイアスを超え、市民が自発的に運営活動できるよう、フェーズフリーな災害対策トレーニングを実施し、各指定避難所共有のマニュアル等の考案と、女性でも参加しやすい避難所運営に特化した事業内容とする。

【内容】〈災害対策トレーニングワークショップの開催〉

シニア世代：町内会等単位の参加者に対して、ミニ講座と介護予防運動を兼ねた、避難時に対応力を強化するファンクショナルトレーニングを定期実施（前後の避難行動と意識調査を実施）

若年層；避難所でのリスクを協議しながら、ジェンダーフリーなマニュアル等の作成を目標に数回実施（日常の防犯意識の向上も兼ねる内容とする）

【専門家による講演会と事例検討会】

災害対策のプロを講師に迎え、公助（行政）共助・自助それぞれの課題を情報共有し、課題解決に向けディスカッションする。

【防災危機管理課等との情報交換会】

中長期避難所運営に関わる意思決定や災害時のガバナンスについて、また行政の災害時の役割と現状課題の共有等。

2 事業の達成状況と今後の課題

「サイコロジカルファーストエイド 心理的応急処置法」の受講

「災害対策トレーニングワークショップ」（釧路市内・音別エリア・シニア）

「東大災害対策トレーニングセンター 沼田准教授講演会」の実施により、市民に発災後の災害対策の重要性を周知できた。また、内容も地域住民が能動的になれるような仕組み作りをしたことで、避難所運営は自分達で行うという動機付けにもなった。

Facebook、Instagram、X等で、情報発信を行ったことにより、多様な世代と性別の市民に広く周知することができ、次回の参加希望の申出もあった。

来年度実施に向けて、東京大学生産技術研究所附属災害対策トレーニングセンターと協力体制ができたことで、釧路市の生涯学習分野に位置づけできる教育プログラムの構築をする。中長期の避難所運営を体系的に学び、演習する災害対策トレーニングを実施し、「場当たりの個々の訓練」から市民と行政、各関係機関がともに連携した災害対策をすることで、強靱で安心・安全な釧路のまちづくりを実施する。

○2023年度輝くまちづくり交付金事業実績報告書【報告会用】

団体名：チームくしろ防災女子

事業名：防災教育プログラム作成事業

事業費：350,000円

輝くまちづくり交付金の交付金額：300,000円

1 事業目的と事業内容

事業目的

防災教育に必要な「防災教育プログラム」を作成することで
教材使用により対応する教員の負担を軽減し、どの学校においても均一な防災教育を
実施することができる環境を整備する事を目的としている

実施内容

防災教育に必要な画像等を利用した教材及びプログラムを作成する。

- ① 防災について対象年齢に応じた5分程度の画像教材を作成する
内容:避難に関する啓発、日常生活における防災への備え等
- ② 教材に合わせて。画像資料とリンクしたワークショッププログラムの作成
- ③ 教育現場で即時使用を目指し、日常利用している機材を対象として資料を作成する

2 事業の達成状況と今後の課題

事業の達成状況

1 画像資料について

内容を決定し、イラストレーターへ画像の作成を依頼中

納品が2月下旬になることが見込まれるが、画像が届き次第、まとめに入る

2 ワークショップの教材

児童やその家族にとって身近な住宅の間取りを使った教材を作成中

家庭内での安全を考え家具の配置などを行う

児童が授業で使用するタブレットを用いて行えるように製作中

今後の課題

教材として、うまく活用できるかどうか試験を行う時間をとれなかったため、児童の反応が不明確なまま納品となる。

改善については次年度行う必要がある

不慣れな作業が多く、素人では難しいと感じる事も多かった。内容について満足できる仕上がりになるかどうか不安がある

○2023年度輝くまちづくり交付金事業実績報告書【報告会用】

団体名：ひがし北海道市民防災サポート

事業名：ひがし北海道防災スクール2023

事業費：50万円

輝くまちづくり交付金の交付金額：30万円

1 事業目的と事業内容

〔事業目的〕

遭遇してしまうかも知れない災害を正しく理解すると共に備えや避難行動といった自助の意識を高め、併せて被災時の支え合い・共助の必要性を考えるきっかけとなるものとする。

〔事業内容〕

災害対策を目と耳で感じそして体験することで身近なものとするための講演、展示、体験コーナーを設けたオープンイベントとし、子供から高齢者まで世代を問わずに学んでいただける場とする。

・ひがし北海道防災スクール2023

2023年10月7日(土)～8日(日) イオンモール釧路昭和にて開催

2 事業の達成状況と今後の課題

〔達成状況〕

主事業の「ひがし北海道防災スクール2023」は計画通り2023年10月7日(土)～8日(日)の2日間で開催し、2日間でおよそ1,000名の来場を頂いた。特に今年は来場者参加型の企画やフォーラムを設けたことで、参加者自身が考える場を充実させることができた。クイズラリーは世代別にすることで分かりやすくなり、参加者も前回比で2倍近くに伸びた。

〔今後の課題〕

市民主体の災害対策を目指す「市民防災」の考え方にはゴールはなく、ライフスタイルの変化や少子高齢化や経済情勢に伴う地域の構成の変化で常に見直していくべきものである。1月1日に発生した能登半島地震では冬季の避難行動の厳しさはもとより、インフラ復旧の難しさとそれに伴う支援受け入れの困難さという当地にも当てはまり得る被害が呈された。さらなる自助・共助の意識付けと地域内支援体制を構築するため、「市民防災」の概念をより多くの市民に伝え、共に学ぶ場づくりを進めていきたい。

○2023年度輝くまちづくり交付金事業実績報告書【報告会用】

団体名：くしろ不登校の子とくらす親の会くるむ 代表 芦田 朋子

事業名：不登校の子も親も安心しよう

事業費：30万円

輝くまちづくり交付金の交付金額：15万円

1 事業目的と事業内容

不登校の子や保護者が、悩みや不安を気軽に話せる居場所づくり。
また、日常的な接し方や対応方法、心構えなどを知れる機会を提供する。

- ・不登校の親どうして話そう会
- ・専門家セミナー
- ・子どもcafe
- ・屋外イベント

2 事業の達成状況と今後の課題

予定していたイベントは全て開催できました。
イベントによって、当初の計画より回数が増えたものと減ったものがあった。

○イベント回数○

保護者イベント	・話そう会 6回 ・ランチ会 1回
子供向けイベント	子供cafe 3回
屋外イベント	秋の散歩と大きなピッツァin春採湖 1回
セミナー・ワークショップ	6回 ・釧路市教育委員会 1回 ・不登校の症状を神経系の理論から見る 1回 ・臨床心理士のお話し 1回 ・コミュニケーションの取り方講座 1回 ・心理療法ワークショップ 2回
その他	個別相談・ふらっとフェスタなど

感想や、アンケートでいただいた、教育委員会に伝えたいことなどを別紙にまとめてあります。

知れて良かった。話せて良かった。この場があって救われたなどの感想もいただいています。

親子でのイベントも、沢山笑顔が見られたり、安心できる時間を提供できたのではと思っています。

忙しくて手が回らないけど、支援者や先生との付き合いで傷ついている方も多く、誰かれ構わずお手伝いしてもらおう訳にもいかない。

資金の問題などもあり、もう少し縮小して活動していこうかと検討しています。

何か良い案がないかと考えております。皆さんからのご助言もお待ちしています。

○2023年度輝くまちづくり交付金事業実績報告書【報告会用】

団体名：釧路市富士見商店街 代表 会長 藤原 輝良

事業名：釧路散策マップ 毛綱建築・富士見商店街 作成事業

事業費：32万円

輝くまちづくり交付金の交付金額：15万円

1 事業目的と事業内容

事業目的

- ・公共交通機関で釧路を訪れた方への「歩く観光情報」の提供。
- ・地元の方への「富士見商店街」の認知度のアップを目指す。
- ・歩く観光の方への休憩できる場所などの情報提供。

事業内容

- ・掲載する毛綱建築のリストアップと紹介内容のまとめ
- ・富士見商店街の各店舗の紹介内容の整理
明治7年創業の竹老園、喫茶店「ん」等
- ・その他掲載する施設やイベント等の検討
90年の歴史を持つ富士見神社、国登録有形文化財 旧五十家住宅、
春採湖ネイチャーセンター、小中学生によるコスモス街道運動、等
- ・散策マップのデザイン検討（外部委託を予定する）
- ・散策マップの印刷（外部委託を予定）
- ・散策マップの設置・配布先の検討及び依頼
富士見連合町内会の各家庭、
観光案内所、釧路駅、釧路空港、バスターミナル

2 事業の達成状況と今後の課題

達成状況

- ・毛綱建築、掲載する商店のリストアップ、イラストの作成
- ・MAPのレイアウト、デザイン
- ・毛綱建築、商店の紹介内容
- ・初稿 アップ（調整中）

今後の課題

- ・パンフレットの設置、配置場所の選定（2月）
- ・原稿の入稿、印刷（3月中旬予定）
- ・パンフレットの配布（3月末予定）

○2023年度輝くまちづくり交付金事業実績報告書【報告会用】

団体名：特定非営利活動法人くしろ・わっと

事業名：未来につながる多世代型コミュニティ拠点推進事業

事業費：1,200,000円

輝くまちづくり交付金の交付金額：250,000円

1 事業目的と事業内容

事業目的

- ① 地域コミュニティ拠点「笑顔のニュータウン」での多世代交流の推進
- ② 高齢者の認知症予防・健康保持
- ③ 子どもたちや子育て世代の居場所づくり

事業内容

- ① 地域住民、学生、子どもらが集う「地域食堂」の開催
- ② 認知症予防のための「高齢者健康教室」の開催
- ③ 小中学生のための無料学習室「てらこやタウン」の開催
- ④ 郷土の歴史と文化を学ぶ「地域学講座」の開催
- ⑤ キッチンカー・買物広場イベント「城山秋祭り」の開催
- ⑥ 子育て世代のための「おさがり交換会」の開催

2 事業の達成状況と今後の課題

2023年4月1日～2024年1月31日までの実施事業

- ① 地域食堂；7月9日、1月12日(2回開催)
- ② ふまねっと健康教室；38回開催
- ③ てらこやタウン；36回開催
- ④ 地域学講座；7月31日、9月25日、11月27日、1月29日(4回開催)
- ⑤ 城山秋祭り；9月17日開催
- ⑥ 買物広場；40回開催(野菜・果物市)

今後の課題として、次年度以降助成金に頼らない事業の展開をどのようにして進めていくのかが問題。

○2023年度輝くまちづくり交付金事業実績報告書【報告会用】

団体名：旧五十嵐家住宅保存の会

事業名：旧五十嵐家住宅説明資料作成事業

事業費：100,000円

輝くまちづくり交付金の交付金額：50,000円

1 事業目的と事業内容

事業目的

国の登録有形文化材である旧五十嵐家住宅を分かりやすく解説する資料を作成し、来訪者へ配布する事により釧路における文化財の価値を浸透させる

事業内容

旧五十嵐家住宅の魅力を読み取れる建物の解説書「みどころマップ」を作成する

- ・間取り→鳥観図
- ・見どころのイラスト
- ・ポイント解説

などを記載した印刷物を作成する

2 事業の達成状況と今後の課題

達成状況

依頼した「みどころマップ」の原図が完了

これからポイント解説などを付け加えて行く段階に入る

達成率は8割程度

今後の課題

出来上がった資料の活用をどのようにすれば、文化財への理解が深まるかを検討する必要がある

○2023年度輝くまちづくり交付金事業実績報告書【報告会用】

団体名：特定非営利活動法和

事業名：ノスタルジック 946（くしろ）～釧路懐かし写真館～

事業費：250,000円

輝くまちづくり交付金の交付金額：250,000円

1 事業目的と事業内容

釧路の歴史を知ってもらう。特に若い世代、移住者、観光客などに釧路の新旧の歴史を知ってもらうことで、地元・故郷釧路を好きになってもらい、釧路の良さ、今後の課題について考え、取り組んでもらうことで、地域経済の活性化にもつなげていけるのではないかと考えている。

【事業内容】

「ノスタルジックな写真」公募

全国の人を対象に、釧路の懐かしい写真を公募し集める。

「ノスタルジックな写真」デジタルアーカイブ化・web ページ制作

公募作品をデジタルアーカイブ化し、それを基に全国の人が閲覧できるように、ウェブページを作成する。

「ノスタルジックな写真」パネル展示会

データを使って、パネルを制作し、市内（候補地としては、釧路空港、MOO、まなぼっと、博物館）でパネル展示を行う。

「グッズ展開」

写真の提供者にノベルティとしてオリジナルグッズを作成する。

2 事業の達成状況と今後の課題

1月31日まで写真を公募中。→期間を延長して募集中
届いた写真を元に2月29日までにWeb ページを展開する。

3月12日～3月17日

釧路市生涯学習センター市民自由広場にて写真パネル展を実施予定。
また、他展示会場も検討中。

同時に写真提供者に渡すノベルティ（オリジナルグッズ）を作成する。

○2023年度輝くまちづくり交付金事業実績報告書【報告会用】

団体名：くしろがわオープンテラス実行委員会

事業名：くしろがわオープンテラス2023

事業費：203,437円

輝くまちづくり交付金の交付金額：200,000円

1 事業目的と事業内容

地域の将来を担う若者が実行委員会を組織し、くしろの資源をより魅力的に発信するとともに、関係団体と協力しながら釧路川リバーサイドの活性化に資する活動を行うことを目的として事業を企画しました。

会場は幣舞橋ふもとのくしろがわりバーサイドで実施し、くしろの“食”“観光”“家族”をテーマとした、持続可能な事業を2日間にわたって実施しました。SNSを活用し、情報をリアル配信しながらくしろがわりバーサイドの魅力を発信するとともに、他のイベントと連動し、各イベントの良さを活かした事業を展開することができました。

具体的には、場所を共有することにより、来場者が昼から夜にかけて2つのイベントに参加するといったことや、片方ではステージイベントを実施し、片方では休憩場所や飲食を提供するといった、共存を図ることができました。

2 事業の達成状況と今後の課題

昨年は、釧路青年会議所が主体となって事業を実施しましたが、昨年の事業実績や関係性をベースに、今回は実行委員会が主体となって、より効果的・効率的に事業を実施することができました。

物品や備品は他のイベントから借用することにより最小限とし、北海道等に対する使用申請についても、釧路市関係課担当者の協力により、簡素化することができました。

その一方、新たな取組として、オリジナルドリンクの制作・販売や、“くしろがわの朝へのチャレンジ！”として、朝のイベントが少ない中、地元住民や観光客を意識した“朝市”を開催することができました。地元の野菜やちょっとした朝食やコーヒーなどを提供できる空間をつくり、同時に開催した朝ヨが参加者やホテル宿泊者の方々に来ていただくことができました。

これもヨガ講師の方のご協力や、早朝から出店していただいたキッチンカーの出店者、地元農家さんをつながりを作ってくれた地域おこし協力隊の方の力により実現できたものです。

「やりたい」という思いを形にして、小さいながらも他のイベントと相乗しつつ多くの人の協力によって、「自分たちがつくった」と思える事業を実施することができました。

今後に向けて、一つのイベントとしてしっかりと魅力を発信し、集客ができる独り立ちした事業として実施すること、2日間の開催に留まらず、定期的な実施できる体制とすることが課題としてあげられます。

○2023年度輝くまちづくり交付金事業実績報告書【報告会用】

団体名：くしろココサイクルプロジェクト

事業名：雄別鉄道開業 100 周年記念！交流型サイクルイベント開催と観光 DX を活用した地域内サイクル情報発信

事業費 380,000 円

輝くまちづくり交付金の交付金額：150,000 円

1 事業目的と事業内容

【事業目的】

- ・ 雄別鉄道等、地域の歴史資源を活用したサイクルイベントの開催とコンテンツ化に向けた検討
- ・ アフターコロナとなり、交流型サイクルイベントの実施
- ・ 観光 DX を活用により、サイクルツーリズムのハブとなる Web ページの作成、運用に向けた検討

【事業内容】

1. 雄別鉄道開業 100 周年記念！交流型サイクルイベント開催
 - (1) SL 気分で行こう！雄別鉄道開業 100 周年
秋の雄鉄線サイクルガイドツアー
 - (2) ②雄別鉄道開業 100 周年記念！夏休みサイクルウィークの試行
2. 観光 DX を活用した地域内サイクル情報発信

2 事業の達成状況と今後の課題

1. 雄別鉄道開業 100 周年記念！交流型サイクルイベント開催

(1) SL 気分で行こう！雄別鉄道開業 100 周年

秋の雄鉄線サイクルガイドツアー

10月9日に実施し、13名の参加があった。鉄道ガイドによる案内で、釧路駅～山花温泉リフレ～道の駅阿寒丹頂の里・炭鉱と鉄道資料館まで約40kmのガイドツアーを実施した。

(2) ②雄別鉄道開業 100 周年記念！夏休みサイクルウィークの試行

8月5日～16日の12日間にわたり、主にファミリー層、学生層の釧路阿寒自転車道の利用促進に繋げるためデジタルスタンプラリーイベントを実施した。62名の参加があった。

2. 観光 DX を活用した地域内サイクル情報発信

観光 DX を活用した釧路市内のサイクルツーリズムのハブとなる情報集約をし、サイクル情報発信ページを制作する。完成した Web ページは、PR カードを制作し、観光案内所等市内各所に配布する。(※現在制作中、3月上旬完成予定)

上記の実施により、釧路市民および来訪者への釧路阿寒自転車道の利用促進、サイクルツーリズム振興に繋がる。今後も継続して実施することで、「釧路はサイクルツーリズムで楽しめるマチ」というイメージづくり、官民あげた PR に繋げて行きたい。

○2023年度輝くまちづくり交付金事業実績報告書【報告会用】

団体名：阿寒丹頂の里活性化協議会

事業名：地域連携による阿寒丹頂の里エリア魅力発信プロジェクト

事業費：489,000円

輝くまちづくり交付金の交付金額：250,000円

1 事業目的と事業内容

◆事業目的

①エリア内・地域内の回遊促進・地域経済への波及促進

多機能施設で構成される阿寒丹頂の里エリアの回遊促進、滞在時間の延長を目指す。阿寒町等近隣エリアへの寄り道を促進し、地域内経済へ波及の促進を進める。

②地域資源を活用した AT 観光メニューの造成

基幹産業である酪農や、旧雄別炭鉱の歴史、阿寒貝化石など、これまで埋もれていた地域資源を活用した AT 観光メニューを試行し、将来的な販売を目指す。

◆事業内容

①阿寒丹頂の里 LAB&夏休み！宝探しスタンプラリーの開催による回遊促進

②道の駅「阿寒丹頂の里」トイレ前掲示板での地域情報発信

③地域資源を活用したモニターツアーの試行

2 事業の達成状況と今後の課題

①阿寒丹頂の里 LAB&夏休み！宝探しスタンプラリーの開催による回遊促進

7月30日にイベントを開催し、約150名の集客があった。阿寒丹頂の里エリア内を回遊するスタンプラリーや、キッチンカー等出展イベントを実施し、阿寒丹頂の里エリアの滞在時間を延ばす取組を行った。

②道の駅「阿寒丹頂の里」トイレ前掲示板での地域情報発信

道の駅「阿寒丹頂の里」トイレ前の掲示スペースに、ひがし北海道の周辺観光案内と阿寒町への立ち寄りマップの制作中（2月中完成）。（株）阿寒町観光振興公社や阿寒町行政センター地域振興課と調整を行い、現在制作を進めている。

③地域資源を活用したモニターツアーの試行

11月11日「貝化石掘り体験」、11月18日「浅野牧場 牧場見学・牛さんブラッシング体験」、11月20日「雄別炭鉱の足跡ツアー」を実施し、合計22名の参加があった。阿寒町の体験型コンテンツの造成を行った。

上記①～③の実施により、多機能施設である阿寒丹頂の里および周辺エリアの回遊促進、観光振興に繋がると考えている。今後は（株）阿寒町観光振興公社との連携を強化し、定期的なイベント開催や、体験型コンテンツの実施、情報発信の強化に取り組みたい。

○2023年度輝くまちづくり交付金事業実績報告書【報告会用】

団体名：一般社団法人くしろまちづくり研究所

事業名：くしろ元気プロジェクト音別町&阿寒町「地産地縁」～元気はつらつ！
キャラバン

事業費：700,000円

輝くまちづくり交付金の交付金額：300,000円

1 事業目的と事業内容

平成17年度に合併した、釧路市・(旧)音別町・(旧)阿寒町が連携し、相互の強みをいかした取り組みが必要と考え、音別町・阿寒町の魅力を地元の小・中・高校生や地域おこし協力隊や住民が本事業のサポーターとなり、地域PRすることにより「地産地縁」をコンセプトに地域経済の活性化を図り、連携により地域の価値を高める事を目的とする。

- 1, 地元の特産品を使った「新商品の開発」とマーケティング
- 2, SNSによる情報の発信
- 3, 元気はつらつ！フォトキャンペーン
- 4, 釧路地域の自然×健康×SDGsアールヴェーダツーリズム講演会

2 事業の達成状況と今後の課題

- 1, 夢の杜いちごソースを開発し「いちごミルク」を元気はつらつ！OTAKARAキャラバン in 阿寒ふるさと祭りで阿寒高校生が50杯販売
- 2, 音別町PR隊のビーナススポーツ少年団が同上のイベントに参加し、特産品販売や「未来宣言」を1,000人の前で行った
- 3, 富貴紙を使った体験型新商品の提案⇒タンチョウ結婚式承認書
- 4, フェイスブック等で発信
- 5, 元気はつらつフォトキャンペーン⇒阿寒ふるさと祭りで実施
- 6, 2月4日アールウェルネス株式会社代表取締役 新倉亜希氏を講師に講演会とパネルディスカッションを実施。釧路市における新たな健康観光コンテンツを造成を目的とする。
- 5, 釧路フィッシャーメンズワーフM00前岸壁でイベント 10月14日・15日開催し、音別町のPRを実施
- 6, テーマである「地産地縁」では未来開拓倶楽部(北海道大学)や紋別市・札幌市・北広島市・旭川・東京都・沖縄県(宜野湾市・小浜島)等他地域の人との繋がりができ、釧路の良さを全国に広めていきたい。